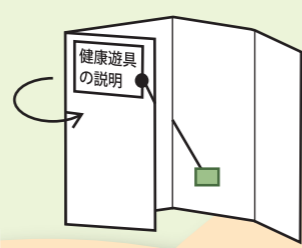


- 呑川ゆったりコース**：国道246号～呑川親水公園～呑川緑道～区境 約2.4km
※比較的平坦なコースです。車いすやベビーカーでもらくらく。
 - 健康遊具コース**
深沢広場～呑川周辺の各公園～深沢一丁目緑地 約3.6km
※近隣の健康遊具を全部回れるコースです。
 - 駒沢オリンピック公園コース**
深沢広場～駒沢オリンピック公園～深沢一丁目緑地 約2.1km
※駒沢公園まで一足延ばすコースです。
- 組み合わせていろんなコースをつくってみましょう
例) 健康遊具+駒沢公園コースで 約5.7km



このマップを折りたたむと、公園と対応して健康遊具の使い方がわかるようになっていきます。

江戸道は上町へ続きます。かつてボロ市の時には人通りが絶えなかったそうです。

都立駒沢オリンピック公園

昭和39年の東京オリンピックの第2会場として建設され、オリンピック終了後に公園として一般に公開されました。園内にはケヤキをはじめとした大樹が多くあり、緑豊かな空間を作り出しています。他にも陸上競技場や体育館など様々な体育施設があり、それらをつなぎながら周回する2.14kmのジョギングコースとサイクリングコースもあります。自然を感じながらスポーツを楽しめる、緑の運動公園として多くの方に親しまれています。



日本体育大学

体育会(現日本体育大学)は明治24年に創設され、昭和12年に世田谷区深沢の現在地に移転してきました。昭和24年に新制大学としての歴史を刻み始め、令和3年に創立130周年を迎えました。

日本体育大学では、体育・スポーツに携わる全ての分野で活躍できる人材を育成しています。これまで日体大関係者がオリンピック・パラリンピックで獲得したメダルの数は168個(金51、銀60、銅57)になります。(令和6年現在)

また、社会貢献活動として、体育・スポーツ活動の支援や教育活動支援、地域美化活動、公開講座、体力測定等にも取り組んでいます。



呑川のいま・むかし

「水が清らかで呑める」ことからこの名がつけました。呑川は、ほぼ多摩川と並行して流れ、世田谷区の深沢地域から目黒区と大田区を通って東京湾に注いでいます。「昔はウナギやドジョウを捕まえて食べたり、いかだで遊んだり。馬洗場や水車小屋もあった」そうです。今では、桜の名所として、また、みどりの豊かな散歩道として愛されています。



凡例

	トイレ		ベンチ		桜の名所
	多機能トイレ		横断歩道		緑が多い場所
	学校		バス停		公園・緑地・広場
	公共施設		歩く時に注意!		かつて江戸道といわれたところ



もっと地域を楽しむために

地域の歴史や自然について紹介したガイドブック(有料)。そこを訪れた記念に、ミニ拓本をとることができます。問い合わせ：玉川総合支所地域振興課 電話番号 03-3702-1603

